

本時のねらい

「お気に入りの本をしようかいしよう」の単元の中で、紹介したい本を選び、友達に紹介するためのスライドを作成する

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

タブレットで写真を撮り、オススメの場所を書き込み、クラスで紹介する。

紙に書いたり、プリントアウトしたりする時間より、児童が自分の思ったこと感じたことを表現し、伝え方の工夫を考える時間を確保する。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- Google クラスルーム
- 大型モニター
- プレゼンテーションアプリ Keynote

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 紹介したい本について記載するワークシートを確認する 今日のめあてを確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> おすすめの本を紹介するカードをつくらう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> Keynote を活用して、教員の作ったスライドを見せて、見直しをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> Keynote はスライドに手書きも文字入力も両方できるため、両方のフォーマットを用意しておくことで、児童個々に選ぶことができる。 打ち込みの方法、手書きの方法を教え、アレンジ（例えば、色や文字の大きさ）は後で行うことが可能であることを伝えておく。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> （個別学習）ワークシートをもとに紹介スライドを作っていく （学び合い）友だちの技（紹介する文言や工夫・スキル）を聞きに行く 完成した児童はミニ先生として他の児童へアドバイスする 	<ul style="list-style-type: none"> 大型モニターを使い、工夫（字の大きさ、色を変えるなど）している児童のスライドを全体で紹介する。 完成した児童のスライドを大型モニターに映し出し、参考例とする。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 次回予告をする スライドを完成させ、クラスルームの提出箱に送る グループで紹介しあう 	<ul style="list-style-type: none"> 完成した児童は文字の色や、スライド自体の色を変えるなどの加工をして、見やすいスライドにしていこうとする。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：Keynote に題名を手書きしている場面



写真2：お気に入りの本をどのように撮ると読み手が読みやすいか工夫している場面

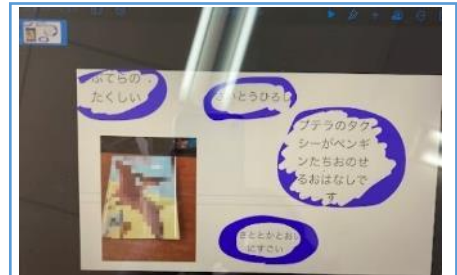


写真3：大型モニターに映し、クラスで作品を共有している場面

児童生徒の反応や変容

- プレゼンテーション機能を使い、新しい表現方法を知ることによって、やってみようという意欲が高まり、集中力が持続していた。
- ワークシートに字を書くことは苦手意識のある児童も、操作性の手軽さからタブレットに書き込むことができた。
- 基本の技能を伝えるだけでも、アレンジしていくことができる児童もいたため、周りの児童も自分でやり方を見つけてみようという積極的にタブレットを活用していた。
- お気に入りの本をクラスのみんなに分かりやすく紹介できるように、何度も文章を練り直している児童がいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 基本のフォーマットをつくることで、文章を作ることなどに苦手意識のある児童も作成できた。
- 手書きと打ち込みの2つの方法から選ばせたので、得意な方で作成することができた。
- Keynote はアレンジすることが容易であるため、低学年でもプレゼンテーション用スライドの作成は、2時間でできた。